

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	時事問題 (Current Topics) 2013011-052					担当教員	西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の 4 つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 情報収集・分析能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト (教科書) を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑥テキスト (教科書)」を確認すること。 ・自分の考えを深める作業を行う。コメント等で記入した内容を教員が紹介する場合がある。 ・必要に応じて資料を配布する。授業内容を理解しやすくするために映像を利用する場合がある。 									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<ul style="list-style-type: none"> (i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 (ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。 									
⑥ テキスト (教科書)									
<p>ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修 (2021) 『2021 年度版ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編 (3・4 級対応)』毎日新聞出版</p> <p>*毎年 3 月頃出版される。シラバス作成時点では、2021 年度版が出版されるという推測のもと記入している。2021 年度版が出版されない場合、2020 年度版を使用する。</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>参考図書</p> <p>パスカル・ボニファス著 佐藤絵里訳 (2019) 『現代地政学 国際関係地図』ディスカヴァー・トゥエンティワン</p>									

秋元千明 (2017) 『戦略の地政学 ランドパワーVS シーパワー』 ウェッジ
 H・J マッキンダー著 曾村保信 (2008) 『マッキンダーの地政学 デモクラシーの理想と現実』 原書房

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			50%			50%		100%
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。						50%		50%
(ii) 時事問題について自分の考えを述べるができるようになる。			50%					50%
フィードバックの方法	課題は総評を公表する							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

引き続き、丁寧な解説と分かりやすい授業資料や映像の活用を行いたい。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	イントロダクション	シラバス	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。 10分
2	時事問題 (政治分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
3	時事問題 (政治分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
4	時事問題 (政治分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
5	時事問題 (経済分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
6	時事問題 (経済分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
7	時事問題 (経済分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
8	時事問題 (社会・環境分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分

9	時事問題（社会・環境分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
10	時事問題（社会・環境分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
11	時事問題（社会・環境分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
12	時事問題（国際分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
13	時事問題（国際分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
14	時事問題（国際分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
15	まとめ		学んだ内容の再確認を行う。	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL、を採用する。

授業ではコメントを記入してもらい、コメント内容を利用する形で授業を進める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--